

平成 28 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子白鳳高等学校
学校長 末次 壽也

評 価 日	平成 29 年 1 月 28 日 (土)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>ア 生徒の学習状況を把握し、各課程において各教科で合理的配慮の取組をするなど、授業を理解し意欲的に参加することができるように対応している。</p> <p>イ 社会人講師や学校独自事業の活用により、社会性の育成やコミュニケーションを促す取組をして効果が上がっている。</p> <p>ウ 学校に通えなかった経験を持つ生徒が多い中、個々の生徒の実態とニーズに対応して関係機関と連携し、粘り強い指導により進路実現をしている。</p> <p>エ 保育園児との交流や銭太鼓製作・体験などにより、他者との関わりや地域文化の理解を深めている。学校全体での地域交流は、これからも継続して欲しい。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>公表事項や学校行事等をホームページ、PTA総会、PTA広報紙などで説明・公表してある。ホームページは、情報量が多くなってきたので継続して欲しい。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>中学校の時にはほとんど登校できなかった生徒が、3年で卒業したり、上級学校へ進学することを聞くと、自分に自信がついてくると頑張っていくことができるのだと思う。座学だけでなく、体験学習を通じて成果が出てくれば、自信に繋がると感じた。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <p>(1) 学習発表会は、一つでも二つでも生徒が楽しんで参加できる企画を取り入れてみてはどうか。</p> <p>(2) 多様な学習ニーズのある生徒が多く在籍しているので、体験学習の充実を図って、様々な生徒の学習に対する意欲を向上させて欲しい。</p>		<p>・各課程で取り組んでいる合理的配慮事例集を作成し、活用する。</p> <p>・社会性の育成などに効果が上がる講師選定や事業企画を行う。</p> <p>・就労体験や就労支援機関との連携を図る。</p> <p>・地域交流は、生徒の表情も明るいので、この交流を通して自己肯定感を育てる。</p> <p>・タイムリーな情報提供に努める。</p> <p>・体験学習の内容を充実させ、学校裁量予算を有効に活用する。</p> <p>・発表だけではなく、参加型企画を具体的に検討する。</p> <p>・全ての生徒のパターンに対応した体験学習は難しいが、効果が上がる取組にする。</p>